

地域地理学(2)

[教科書]

使用しない
地図帳を持参することが望ましい。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

予習：地図帳で当該地域の位置や地勢、疑問点や関心のある個所を確認しておく。
復習：授業の資料やノートを見直して分からなかった用語について調べる。ワークシートを作成する。

[その他(オフィスアワー等)]

ほぼ毎回ワークシートの提出がある。ワークシートでは資料の判読・要約・考察など、能動的な取り組みが求められる。
履修希望者が収容上限を超えた場合には履修制限を行う。とくに履修を希望する学生には事前課題による「教員推薦」を行う予定。
授業の進め方や評価、持参するものについて初回授業で詳しく説明するので、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。

生成AIの使用制限: 課題や評価に関わる成果物のいかなる部分も、生成AIによって生成、作成、製作してはなりません。提出が求められるすべての課題は学生自身が作成したものでなければならず、生成AIを使用して評価に使用される課題や成果物を作成することは厳格に禁止されています。ただし、自らの学習を補助するために、概念の探究を行うこと、説明を受けること、内容を翻訳すること、については、生成AIを使用することができます。使用する場合には、「京都大学の教育・学修におけるAIの利用について」のガイドラインを遵守し、誤情報やバイアス等のリスクが含まれることを念頭におき、根拠資料・一次情報の確認をすること。

[主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部